



平成 24 年 9 月 14 日

各 位

上場会社名 関東電化工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 山下 史朗
 (コード番号 4047 東証第 1 部)
 問合せ先 執行役員人事総務部長 浦本 邦彦
 (TEL. 03 - 3216 - 4561)

平成 25 年 3 月期連結業績予想の修正および特別損失の計上
 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 9 月 14 日開催の取締役会にて、下記のとおり、平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結決算において、電池材料事業の減損損失と収益改善に向けた事業構造改善費用を特別損失に計上する方針と致しました。これに加えて、最近の業績動向等を踏まえ、平成 24 年 5 月 15 日に公表しました平成 25 年 3 月期第 2 四半期(累計)および通期連結業績予想ならびに配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 25 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	18,500	△300	△350	△400	△6円95銭
今回修正予想(B)	16,800	△1,150	△1,150	△8,700	△151円23銭
増減額(B-A)	△1,700	△850	△800	△8,300	—
増減率(%)	△9.2	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月第2四半期)	17,923	513	351	102	1円77銭

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	41,000	1,900	1,800	900	15円64銭
今回修正予想(B)	35,500	△800	△900	△8,650	△150円36銭
増減額(B-A)	△5,500	△2,700	△2,700	△9,550	—
増減率(%)	△13.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	35,236	△109	△219	△652	△11円35銭

修正の理由

平成 24 年 5 月 15 日に、平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を公表いたしました。国内電機業界の構造不況の影響や世界的な景気減速懸念等、当初想定よりも厳しさを増す事業環境に加え、業績の動向も勘案し、前回発表時の予想を修正いたします。

今後の見通しにつきましては、基礎化学品事業部門では、か性ソーダの価格修正効果はあるものの、塩素系有機製品の需要停滞により、売上高は当初計画を下回る見込みです。精密化学品事業部門では、半導体・液晶用特殊ガスである三フッ化窒素の競争激化等により、売上高は当初計画を下回る見込みです。電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、リチウムイオン 2 次電池の車載向け需要の立ち上がりの遅れや海外市場での競争の激化により販売数量が減少し、売上高は当初計画を下回る見込みです。鉄系事業部門では、複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーの海外向け販売数量の減少により、売上高は当初計画をやや下回る見込みです。商事・設備の各事業部門では、売上高はほぼ計画どおりとなる見込みです。

一方、事業環境の好転に期待することなく、平成 24 年度下期以降の収益改善を確実なものとするため、製造製品の選択と集中や固定費削減等の収益構造改革を強力に推しすすめてまいります。なお、平成 24 年 10 月より、役員報酬を 20%から 40%削減いたします。

また、下記「2. 特別損失の計上」に記載のとおり特別損失を計上することに加え、繰延税金資産約 25 億円を取り崩すため、第 2 四半期は四半期純損失 87 億円となり、通期でも当期純損失 86 億 50 百万円となる見込みであります。

2. 特別損失の計上

(1) 事業用資産の減損損失の計上

水島工場電池材料事業（六フッ化リン酸リチウム）は、販売価格の低下等により継続的に赤字を計上しております。今後の販売計画等から将来のキャッシュフローを算定した結果、当該事業に係る事業用資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、将来キャッシュフローの現在価値まで減額し、当該減少額 32 億円を、平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結決算において、特別損失に計上する予定です。なお、当該事業については、構造改革により収益を改善し、今後も安定供給を行ってまいります。

(2) 事業構造改善費用の計上

今後の収益改善を確実なものとするため、製造製品の選択と集中や固定費削減等の構造改革を断行するため、事業構造改善費用 12 億円を、平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結決算において、特別損失に計上する予定です。

3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 24 年 5 月 15 日公表)	3 円	3 円	6 円
今 回 修 正 予 想	0 円	0 円	0 円
当 期 実 績			
前 期 実 績 (平成 24 年 3 月期)	3 円	3 円	6 円

修正の理由

平成 25 年 3 月期の配当金につきましては、前回予想（平成 24 年 5 月 15 日発表）では、第 2 四半期末（中間）、期末ともに、1 株につき 3 円と予想しておりましたが、上記業績予想の修正や財務状況および経営環境などを総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら、いずれも無配に修正させていただきます。

※（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上